

2023年4月1日

自己点検・自己評価項目

東方国際日本語学校

校長 東方 恵子

各項目の評価方法は、5段階評価（5から1）としている。

5:達成されている。

4:ほぼ達成されている。

3:どちらともいえない

2:取り組みを検討中

1:改善が必要

1 教育理念・目標等

段階評価

1-1 理念・目標は定められているか

【 5 】

1-2 学校の特色は何か

【 5 】

1-3 理念に基づく教育が行われているか

【 5 】

（現状・具体的な取り組み/課題）

1-1 「日本語教育を通じて社会に貢献するための人材を育成する」という使命のもと、建学の理念である「グローバル化に対応できる人材の育成」「多文化共生力の育成」「高いコミュニケーション能力の育成」を図るための実践的な教育を行っている。

また、全ての職員が倫理を尊重し「誠実」を持って学生指導にあたり学生、保護者及び社会からの信頼を得ることを学校の組織目標としている。

1-2 特色

熊本県内唯一の日本語学校として、教育のすべてを日本語教育と連動

特に、定員60人という少数精鋭であり、このメリットを生かし同一レベルでも習熟度に応じた指導を行うなど、学生が効率よく学べるよう工夫を凝らした指導に努めている。

1-3 理念に基づく教育

国際的な視野を持ち国際社会で活躍できる人材の育成を目指し、教育理念と教育目標に基づく指導を推進している。

2 学校運営

- | | |
|---|-------|
| 2-1 運営方針は定められているか | 【 5 】 |
| 2-2 事業計画は定められているか | 【 5 】 |
| 2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか | 【 5 】 |
| 2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか | 【 5 】 |
| 2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 【 4 】 |
| 2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか | 【 4 】 |
| 2-7 危機管理体制は整備されているか | 【 4 】 |
| 2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか | 【 5 】 |

(現状・具体的な取り組み/課題)

- | |
|---|
| <p>2-1 運営方針は、事務局で検討し3月に開催する全体会議で次年度の方針を決定している。</p> <p>2-2 事業計画についても全体会議で検討し予算と共に決定している。</p> <p>2-3 校長を中心とした運営組織や意思決定機能は確立している。</p> <p>2-4 個々の職員の職務内容を明確に規定し、それぞれが職務内容に沿った目標を設定することで自己評価及び校長による評価の参考とし、人事や処遇の改善、職場環境の改善を図ることとしている。
また、教員の質を強化するため定期的な教員ミーティングの実施に努めている。</p> <p>2-5 職員の勤務時間の管理を徹底し、また、職務分掌の見える化を徹底し無駄のない効率の良い業務運営に努めている。
また、学生情報の一元管理を図ることにより、学生にきめ細やかな指導・支援ができるようにするなど、業務の効率化を積極的に推進している。</p> <p>2-6 学校運営を維持・向上させるため、逐次全体会議を行い業務の進捗状況と問題点・対策を議論し運営方針や事業計画の実現に向けた意思確認を行うなど、効率的運営に向けた体制を整えている。</p> <p>2-7 危機管理体制確立の一環として職員及び学生の連絡系統表を作成するとともに、学生の安全確保を目的とした警察官による犯罪等防止講和を実施している。また、大規模災害(震災、台風等)に備え、避難訓練を実施することとしている。</p> <p>2-8 学校教育法及び日本語教育機関のガイドラインを遵守した施設・設備の整備に努めている。</p> |
|---|

3 教育活動

- 3-1 カリキュラムは体系的に編成されているか 【 5 】
- 3-2 教育機関として授業評価・評価体制・学生が到達すべき日本語能力の目標は明示されているか 【 5 】
- 3-3 成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか 適切に運用されているか 【 5 】
- 3-4 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか 【 5 】
- 3-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 3-1 日本語入門から中・上級レベルまでの体系的なカリキュラム編成を継続的に行っている。
カリキュラムの編成にあたっては、教員のミーティング時にそれぞれの情報や意見にもとづき必要な場合、改善を行うこととしている。
- 3-2 校長や主任教員が教員の授業力評価を行うなど評価体制は確立されている。また、学生が到達すべき日本語能力の目標については、入学時及び各種試験結果に応じて目標設定の見直しを行っている。
- 3-3 成績評価は試験結果、出席状況、授業態度等を総合的に勘案し適切に行っている。また、進級・修了の判定基準は成績評価を基に適切に運用している。
- 3-4 個々の学生のレベルと目標を把握しその目標達成に向けた授業を行うなど、教員の資質は十分備わっている。また、目標達成に向けた授業を行うため、主任教員の指導の下レベルに応じた教材の選定に努めている。
- 3-5 各種試験については個々のレベルに応じた指導を行うなど、認定率向上のための組織体制を確立している。

4 学習成果

- 4-1 授業評価体制は適切か、また授業評価は定期的実施しているか 【 5 】
- 4-2 学生の日本語能力の向上が図られているか 【 5 】
- 4-3 学生の進路を適切に把握しているか、また、進路に関する最新の資料が備えられ、閲覧状態にあるか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 4-1 校長を長とした評価体制を確立し定期的に授業評価を実施している。
なお、評価にあたっては複数の教員による客観的な評価に努めるとともに、評価結果については共有し教員の能力向上に活用している。
- 4-2 学生の日本語能力の向上を図るため能力ごとのクラス編成を行うとともに、教育内容に応じた教育機器を活用している。
また、能力試験、日本留学試験、J・TESTを積極的に受験するよう指導するとともに、この結果に基づき個人面談を行い勉強方法の改善指導を行うなどさらなる日本語能力向上を図っている。
- 4-3 学生との面接により進路目標を把握するとともに、現状に応じた進路指導を行うなど適切に対応している。
また、進路に関する資料については各大学・専門学校などから取り寄せ常に閲覧できるようにしている。

5 学生支援

- 5-1 学生支援計画を策定し、学生に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか [5]
- 5-2 生活面における健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか [5]
- 5-3 防災や緊急時における体制が整備されているか [4]

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 5-1 教務担当者と生活指導担当者が連携し、随時学生と個別面接を行い進路指導を行うとともに、アルバイトや生活の現状把握に努めている。なお、個別面接で把握した事案については職員全体で情報を共有し、以後の指導に活用している。
- 5-2 生徒の健康診断については、全員が来日・入校しそろうた時点で早期に指定の病院での健康診断を行っている。新型コロナウイルスについては、感染者が減少傾向にあるもの手洗い、うがい、マスク着用を推奨するとともに人が集まる場所には極力近づかないよう指導を徹底している。生活指導については、長期休暇前のオリエンテーションに際し細かな注意点まで指導するとともに、随時寮に赴きゴミ出しルールなど日本で生活するうえで必要なことについて実地指導を行っている。
- 5-3 災害等発生時には学校及び職員へ即時連絡ができるよう緊急連絡網を配布するなど学生の生活面へのフォロー体制を確立している。また、学生の安全確保のため管轄警察署員による防犯指導を行うとともに、防災に関する消防署員による指導を行うこととしている。

6 教育環境

- 6-1 校地及び校舎が十分かつ安全に整備されているか [5]
- 6-2 授業が可能な教材や設備、教育用機器が整備されているか [4]
- 6-3 学習効率を図るための環境整備がなされているか [5]

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 6-1 校舎は開校前の2021年3月、全館改修し学生の受け入れに支障ないよう整備したものであるが、コロナの影響低下による入校性増加への対応として2022年9月、駐輪場の整備を行い、定員60人に対応できる駐輪スペースを確保した。施設・備品等については告示基準に則って整備している。
- 6-2 教材は学生のレベルに合わせた学習しやすい教材を選定している。また、各種の教育機器については、常に整備することとしている。
- 6-3 学習効率を図るため、学生数に適した教室を使用するなど行き届いた授業に努めている。また、未使用教室を活用した自習スペースを確保し、学生が放課後も学校で勉強できる環境を整備している。トイレについては定員60人に対応するため1階に男子トイレ4個、2階に女子トイレ3個を備えている。

7 入学者の募集

段階評価

- | | |
|----------------------------|-------|
| 7-1 学生の募集は適切に行われているか | 【 5 】 |
| 7-2 日本語教育機関の情報は正確に伝えられているか | 【 4 】 |
| 7-3 入学選考は適切に行っているか | 【 5 】 |
| 7-4 授業料等は開示しているか | 【 5 】 |

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 7-1 学生募集については、本校の教育目標に照らし、日本語学習の目的や日本語学習意欲において問題のない学生を受け入れるという方針のもと年間募集計画を定めており、その計画に沿って問題のない学生を受け入れている。
- 7-2 募集要項やパンフレットについては現在の状況を正確に記載し派遣先の学校に適宜送付している。
また、本校の詳細な情報発信のためホームページを作成し変更がある場合、逐次最新の情報を掲載することとしている。
- 7-3 学生の選考にあたっては、派遣先学校から受領した入学願書等により書類審査を行ったうえで、スカイプ等を用いた面接を校長、主任教員、学生指導担当者等が行い優秀な学生を選考することとしている。
なお、現在はコロナの関係からスカイプ等による面接を行っているが、コロナ収束後は現地に赴いて直接面接を行うこととしている。
- 7-4 授業料、入学金等の納付金及び学校情報についてはホームページで開示している。

8 財務

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 8-1 財務状況は、中長期的に安定しているか | 【 5 】 |
| 8-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか。 | 【 5 】 |
| 8-3 財務について適正な会計監査が実施されているか | 【 5 】 |
| 8-4 財務情報の公開の体制はできているか | 【 2 】 |

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 8-1 2019年10月生から2021年10月生までの間、コロナの影響により入校性は6人とどまっていたものの経営に大きな問題点はなかった。このような状況下、2022年4月生37人が入校したことで財務状況が好転し経営基盤は更に安定し中期的にも問題点はみられない。
- 8-2 学生数の安定を図るため信頼のおける留学生送り出し機関を選別し留学生の確保を図ることとしている。今後、特に認定率の高い中国や申請者の多いネパール、ベトナムを中心に事業計画を策定し更なる収支の安定を図ることとしている。
- 8-3 会計監査は税理士により定期的に行うこととしている。
- 8-4 財務状況の公開については検討中。

9 法令遵守

- | | |
|--|-------|
| 9-1 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営なされているか | 【 5 】 |
| 9-2 コンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っているか | 【 4 】 |
| 9-3 学生に対する在留関係指導に努めているか | 【 5 】 |
| 9-4 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 【 4 】 |
| 9-5 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 【 5 】 |
| 9-6 自己点検・自己評価を公開しているか | 【 5 】 |
| 9-7 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか | 【 5 】 |

(現状・具体的な取り組み/課題)

- | |
|--|
| <p>9-1 本校は法務省の法令、設置基準を満たした告示校に認定されており、関係法令及び基準等を遵守した運営に努めている。</p> <p>9-2 各種会議において資料配布を行うとともに、教育現場におけるパワハラ根絶に向けた取り組みを行うこととしている。
また、法令順守意識の向上のため全体会議において検討会等を実施している。</p> <p>9-3 在留に関する指導、資格外活動に関する留意事項等について入学時期及び長期休暇前のオリエンテーションに際し指導に努めている。</p> <p>9-4 業務で利用するパソコンについては、ウイルス対策を定期的に行うなど情報の保護に努めている。
また、個人情報保護に関して教職員による検討会などを行い個人情報保護の周知徹底を図っている。</p> <p>9-5 現在まで自己点検・自己評価について問題点はない。なお、今後も問題点の把握・改善に努めることとしている。</p> <p>9-6 自己点検・自己評価の公開をしている。</p> <p>9-7 報告時期にあわせて遅滞なく実施することとしている。</p> |
|--|

10 地域貢献・社会貢献

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 【 5 】 |
| 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 【 2 】 |

(現状・具体的な取り組み/課題)

- | |
|---|
| <p>10-1 本校は平成12年、県内唯一の中国語専門学校「東方中国語学院」として開校以来多くの受講生が学び、600名以上の中国語検定試験合格者を輩出している。また、熊本県警察の警察官や各種企業の社員に対し中国語語学研修を行うなど施設や資源を活用した社会貢献を行っている。</p> <p>10-2 日本語学校開校(平成31年4月)後、卒業した学生は7人(令和5年3月現在)と少数であるため、地域との交流についてはいまだ実施に至っていなかったが、2023年4月現在は在校生が54人になり地域との接点も多くなることから、今後は地域との交流や生徒によるボランティア活動について計画していくこととしている。</p> |
|---|

〈総括〉

2023年4月現在、在校生が54名になり教職員一同これまで以上に教育活動、生活指導に尽力し学生、保護者また社会から信頼される学校を目指し尽力していく所存です。
なお、今後も安定的に学生の確保ができるよう募集体制の強化を図るとともに、派遣先学校の多様化を図り優秀な生徒を確保できるよう努めてまいります。